

赤甲城(甲斐武田信成館)(指定無)(笛吹市八代町北字大庭)(清道院)

山梨・赤甲(あかこう)城跡。

甲斐武田氏第11代当主・武田信成の居城跡。

現在

今は跡地に清道院が建っている。同院は応永5年(1398)、息子第12代当主・武田信春が清道院を開山した。

入って右手に案内文の石碑によれば、清道院の境内は武田信春の父信成の居城「赤甲城」とのこと。応永5年(1398)3月18日、赤甲城は、武田信成が信州へ出陣中に落城し、夫人が城内の井戸に身を投じて自害した。その井戸は、「ミナイノ井」といい、一日のうちに数度水色に変化するという言い伝えがある。

また門内に、信成公お手植えの松がある。

戦国時代の城による



(C) Jokaku-horoki

